

建築学科 ディプロマ・ポリシー

建築学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 人文社会科学や自然科学などの幅広い教養と英会話を含めたコミュニケーション能力を身につけ、それを建築のプロフェッショナルとして活かすことができる。〔幅広い教養に基づいたコミュニケーション能力〕
- (B) 建築学の各分野で修得した幅広い知識・技術をもとに、総合的な見地から、多様な建築を設計・施工・管理・維持する技術的能力を修得し、それを実務で活かすことができる。〔専門基礎知識・技術の実践・応用力〕
- (C) 建築学の各分野で修得した専門的な知識・技術をもとに、自発的に建築の学習を継続し、建築のプロフェッショナルとして自らを高めることができる。〔自己啓発に努める生涯学習能力〕
- (D) 自身のアイデアを文章や図面にまとめ、表現する能力を身につけ、他者に正確に伝えることができる。〔確かなデザイン力に基づいたプレゼンテーション能力〕
- (E) 社会が抱える諸課題の中から建築に関わる事項を抽出し、他者と協力して社会の持続可能な発展に寄与する合理的な解決策を見いだすことができる。〔協働的かつ主体的な課題発見・解決力〕
- (F) 建築のプロフェッショナルとして使命感や倫理観を身につけ、社会的責任について考え、説明することができる。〔技術者としての実践的倫理観〕